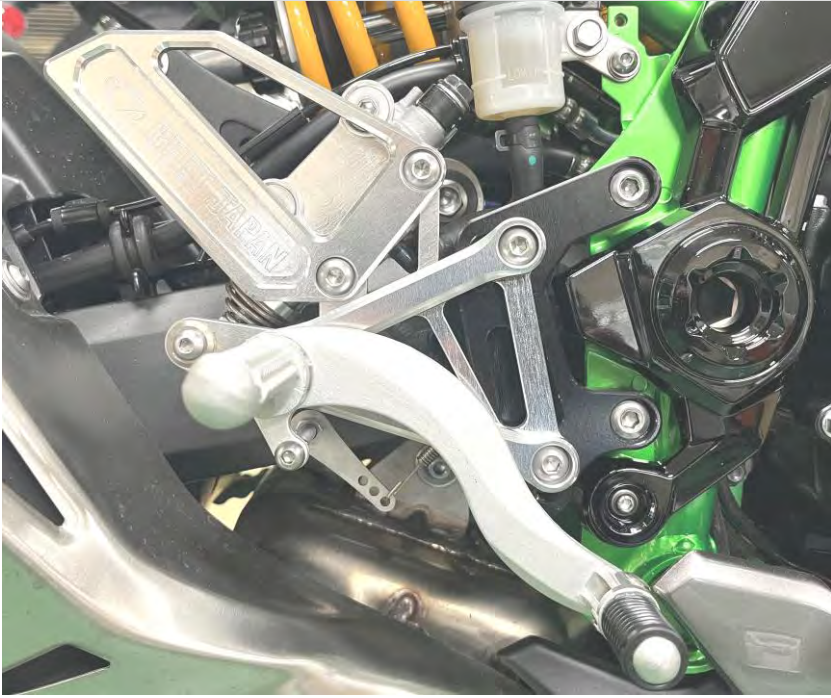


# KAWASAKI 25~Z900 Hyper Bank < 取付説明書 >



## おもな仕様

◆ チェンジ側・ブレーキ側 ステップホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側・ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル・ブレーキ側ペダル	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ チェンジペダルカム・ブレーキペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➢ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➢ 4ポジション可変システム	
➢ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➢ ステップバー 固定式仕様	

《 **注意 !!** 》

取付作業をはじめる前に  
必ずお読みください

《 **Attention!!** 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2~3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

☆ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

## ブレーキ側( R )の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

ヒールプレートを固定しているボルト/ナットを緩めヒールプレートを取り外す。リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8×30mm 段付き純正ボルト (取り付けに使用する) を緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

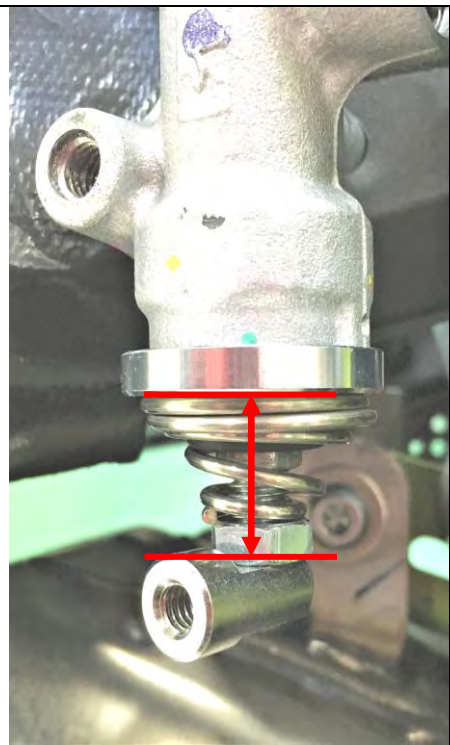
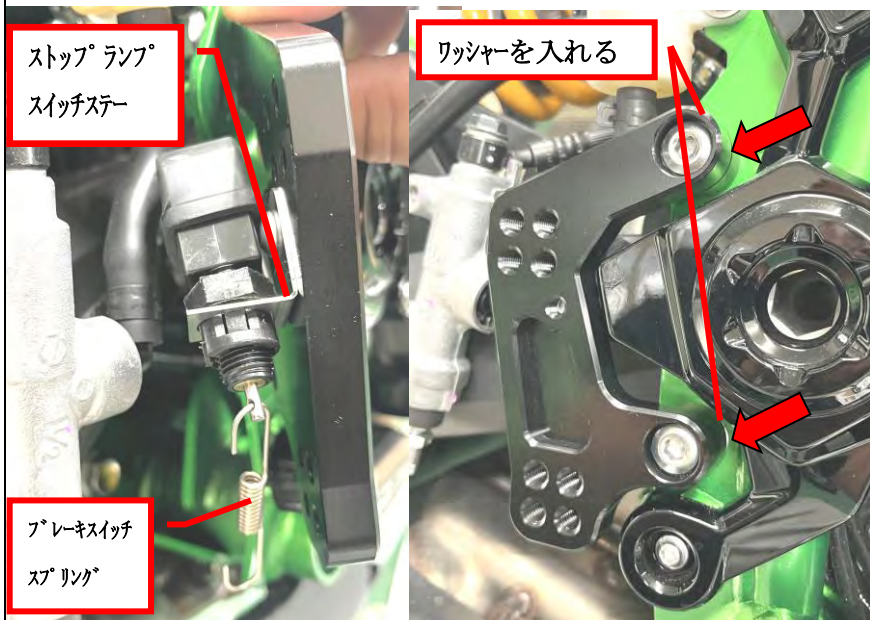
その後、純正ブレーキランプスイッチアのジャストナットを回してブレーキランプスイッチをノーマルホルダーから外し、スイッチのアジャストナットもノーマルホルダーから外してください。

リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、ノーマルステップホルダーをホルダーAssy ごと回してマスターシリンダーから、完全に取り外します。

( ※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します )

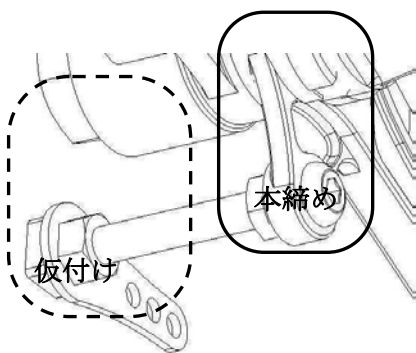
左下図の様に、純正ブレーキランプスイッチと付属のスプリングを取り付け、ポジションプレートとフレームの間に、10mm厚のカーとワッシャーを挟む様に M8×30mm 段付き純正ボルトで取り付ける。

※ブレーキ側ステップが完成後、マスターシリンダーとスイングアームの隙間が狭い場合は、ワッシャーを1枚追加し各2枚にする。



左図の様に、純正マスターシリンダーに  
a) H/B リターンスプリングカー  
b) ペダルリターンスプリングNo.10  
c) 純正 M8 アジャストナット  
の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、一番下のナットの下端との距離を 21mm (※左図矢印参照) に調整し純正アジャストナットで仮止め、プッシュロッドジョイントも取り付けておく。

※後で要再調整



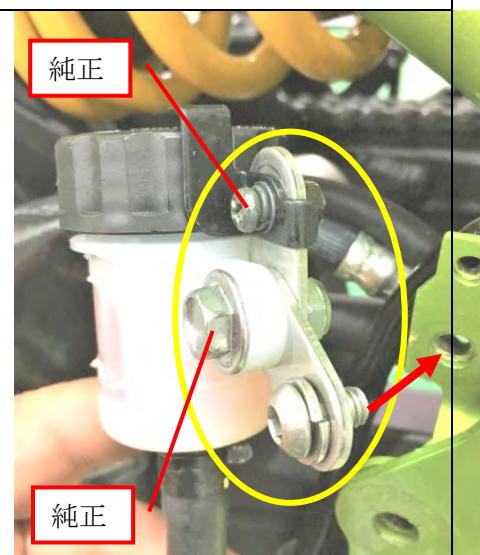
ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×55 を締め込み、裏から左図のように、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

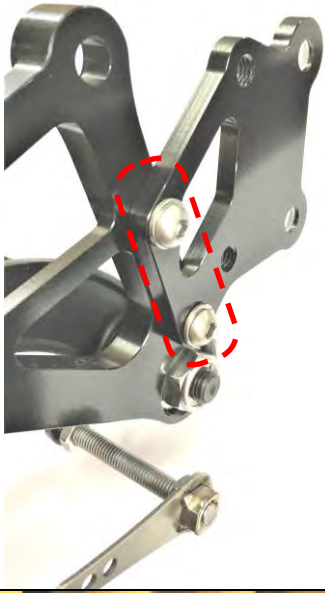
そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

右図の様にマスターカップステー1を2枚組み合わせて仮組みし、作業中にマスターカップが動かない様に、丸キャップボルトとスプリングワッシャーでフレームに取り付ける。

純正 M4+ネジには M4 ワッシャーと M4 フランジナット。

純正 M6 ボルトには M6 ワッシャーと M6 ロックナット。

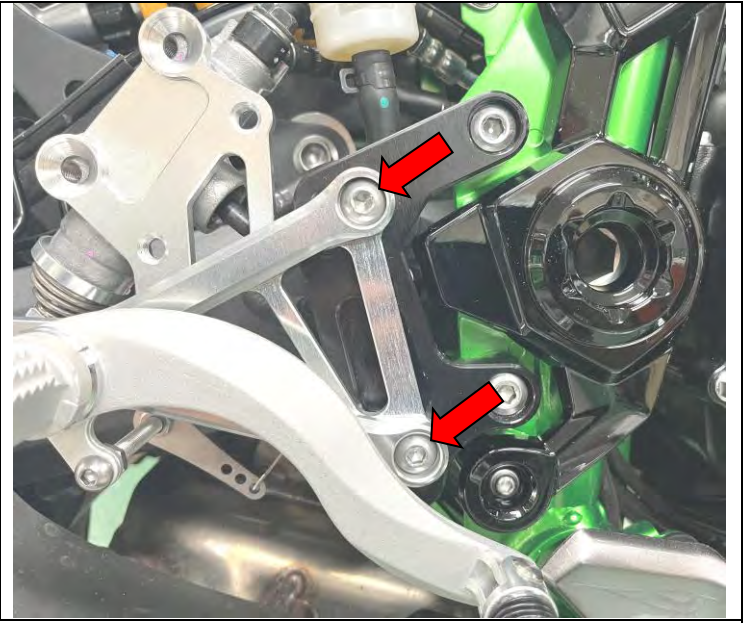




左図の様に、ヒールプレートホルダーを、丸キャップボルト M6×15 とスプリングワッシャーで取り付ける。

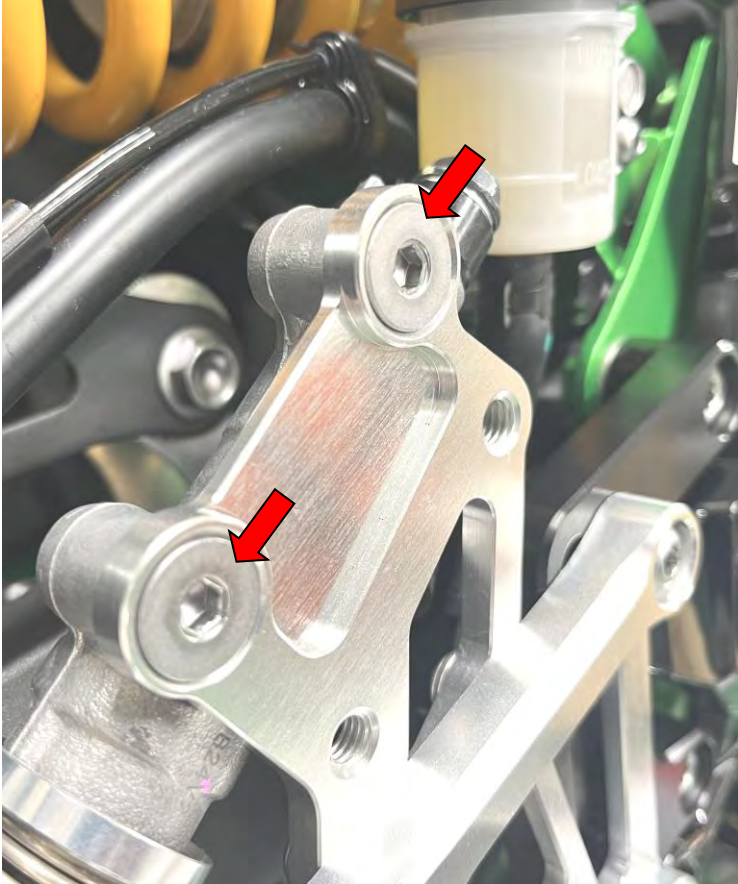
※チェンジ側はスプリングワッシャー無し

右図の様に、1～4の好みのポジションに、メインホルダーを丸キャップボルト M8×15 で取り付ける。

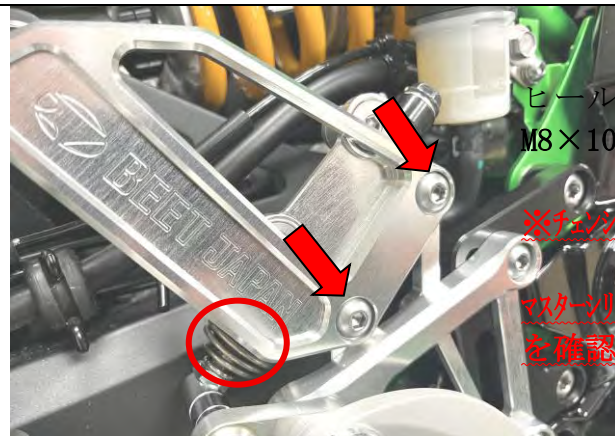
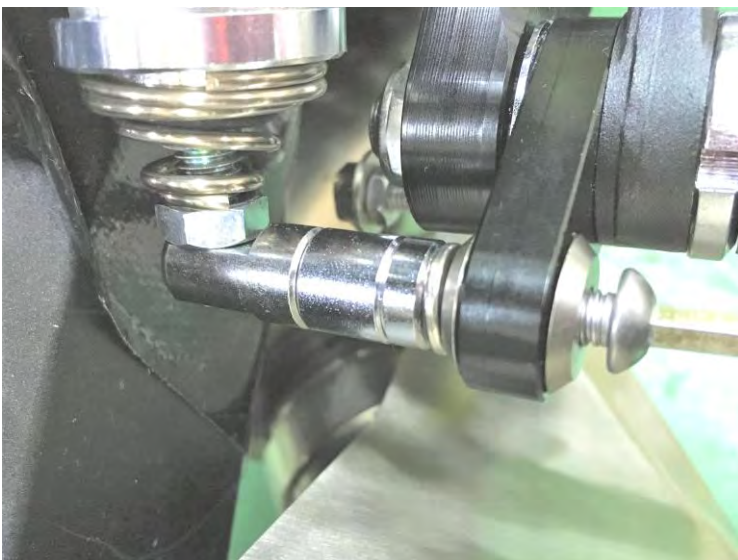


マスターシリンダーを皿キャップボルト M8×25 で取り付ける。

下図の様に、ブレーキホース取り付けボルトを、ブレーキフルードが漏れない程度に緩め、ブレーキホースに負担が掛からない角度に動かし、再度ボルトを締める。



下図の様に、ブレーキペダルとプッシュロッドジョイントの間に、スプリングワッシャー、メッキワッシャー 2 個 (4.5mm 厚/10mm 厚) を挟む形で丸キャップボルト M6×35 で取り付ける。



ヒールプレートを丸キャップボルト M8×10 で取り付ける。

※チェンジ側は M8×15

マスターシリンダーとスイングアームの隙間を確認する。

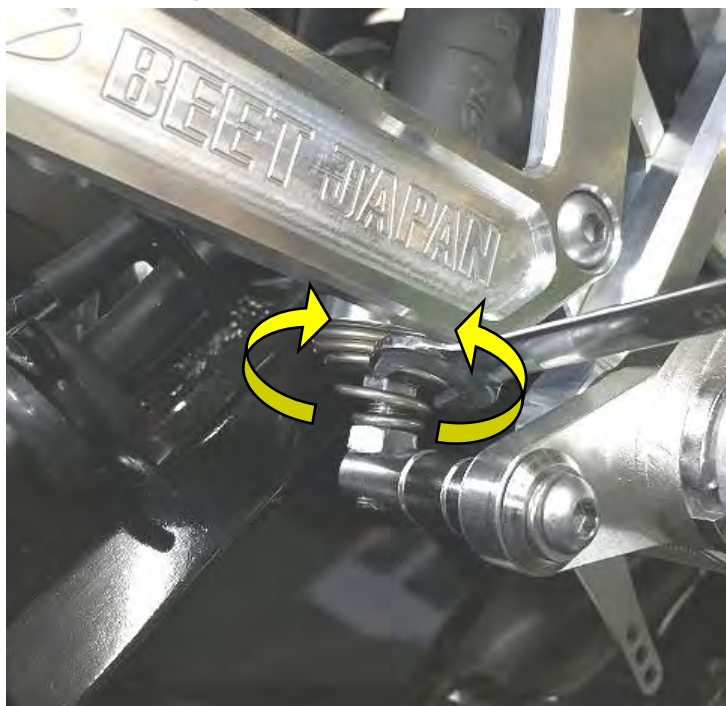
マスターカップのチューブが折れ曲がらない様に、マスターカップステーの角度を調整し、ボルト・ナットを本締めし固定する。

※選択したポジションにより、マスターカップの位置・ステーの角度は異なります。



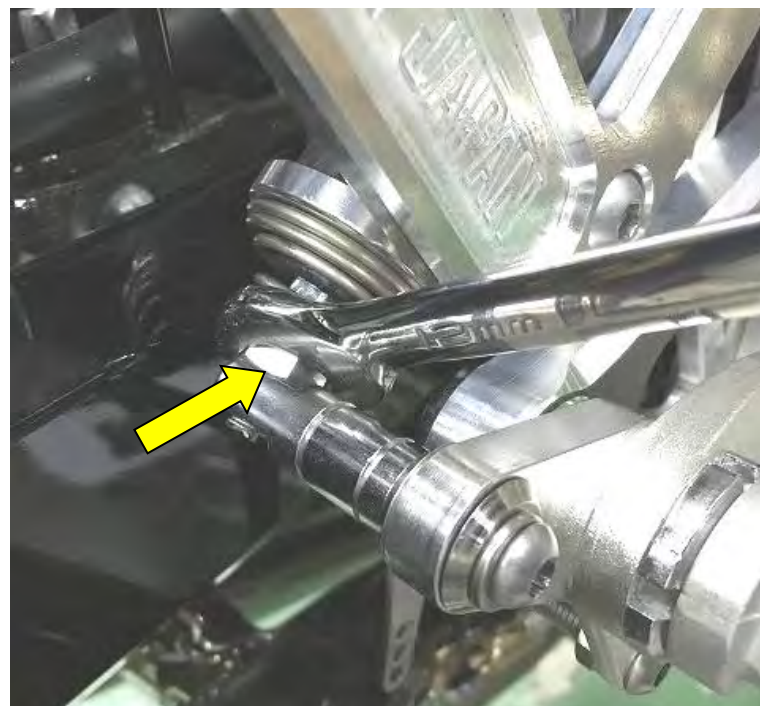
ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回転させ調整します。

※写真は Z900RS。



ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。

※写真は Z900RS。



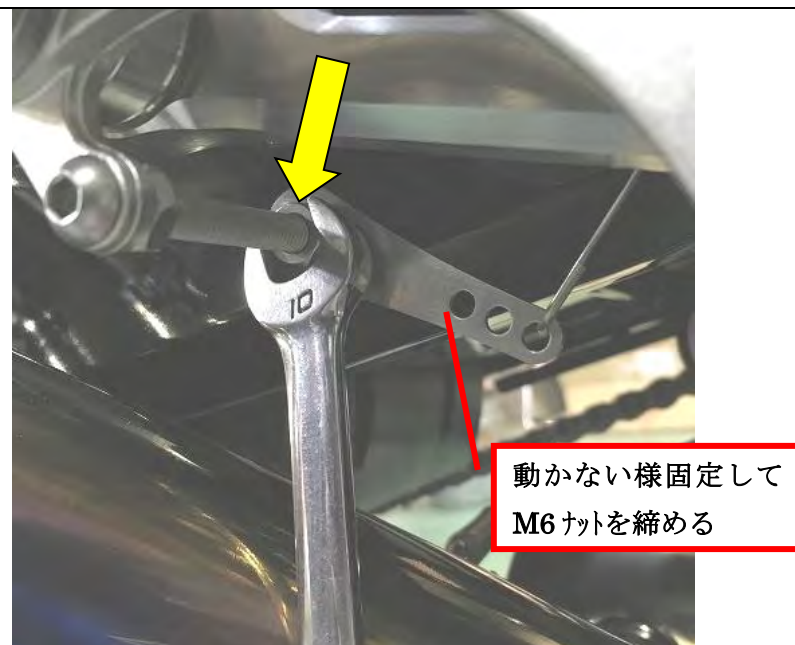
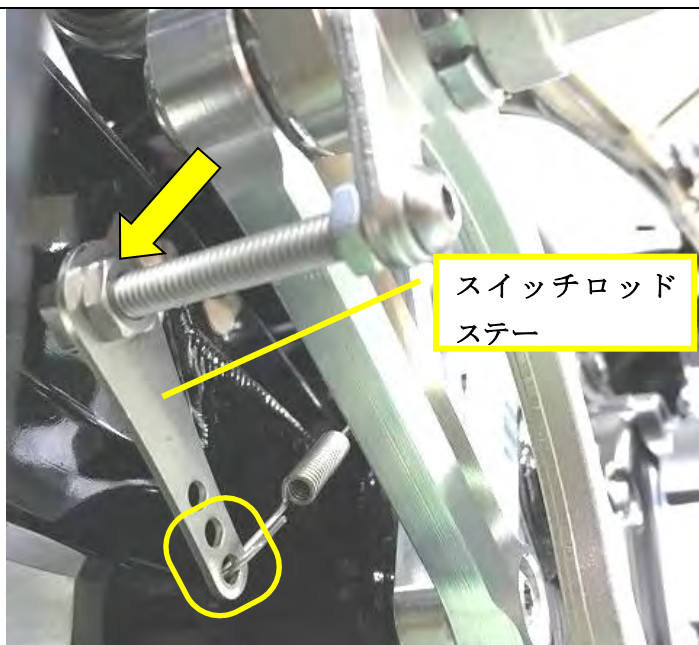
▶ ペダルが 上向き すぎる場合は…  
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

▶ ペダルが 下向き すぎる場合は…  
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

矢印の M6 ナットを緩めスイッチロッドステーをフリーにした状態で、ブレーキスイッチスプリングを取り付ける。  
※ポジション 1・2 は真ん中、ポジション 3・4 は先端の穴。

ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。  
※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを締める。



◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

## LH (チェンジ側) の取り付け

- ▶ チェンジ側ノーマルステップ側純正チェンジシャフトを止めている、純正 M6 六角ナットを緩めて、純正チェンジシャフトを外します。
- ▶ ノーマルステップを車体に固定している M8×30mm 段付き純正ボルト (取り付けに使用する) を外しノーマルステップを車体から外します。

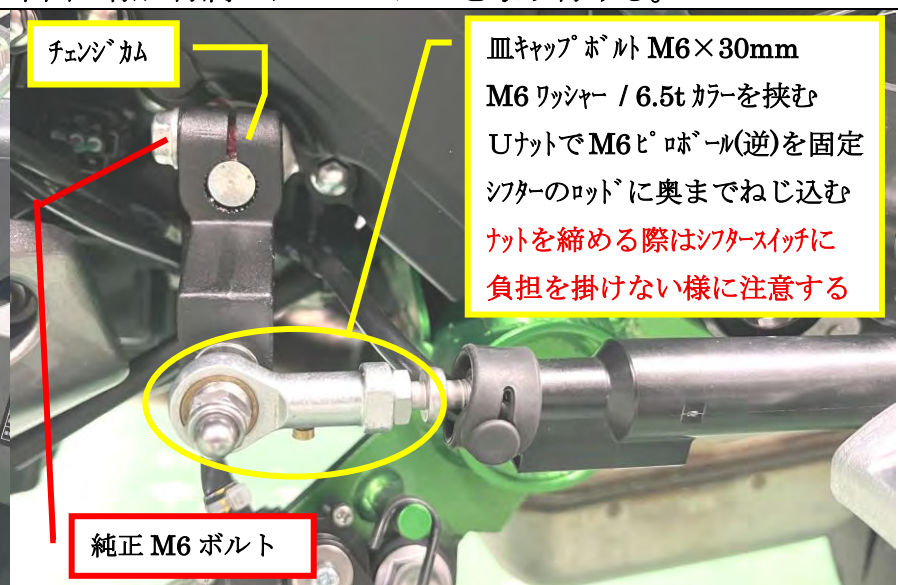
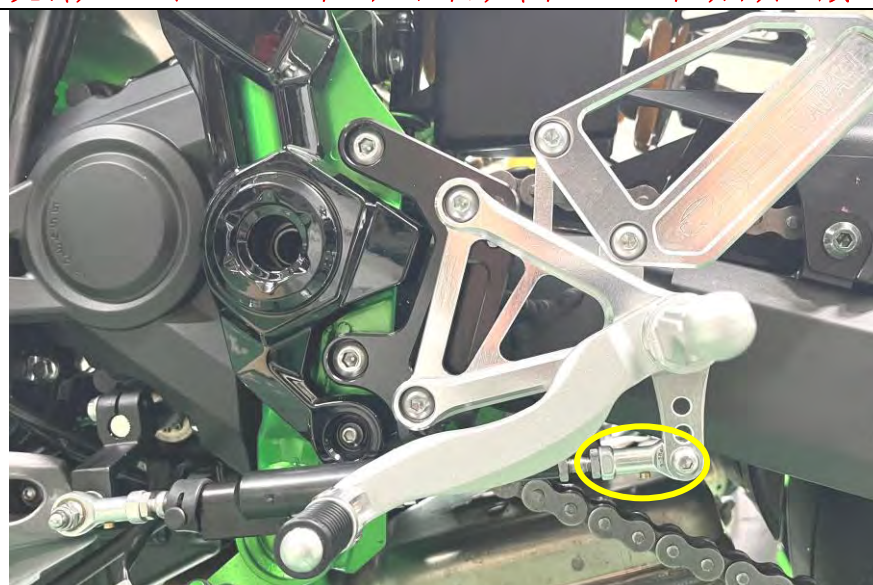
ブレーキ側同様に、ポジションプレート、ホルダー、ヒールプレートを取り付けします。

下図黄○の様に、ペダルカムが一番下の穴にピロボール(正)を取り付ける。

**丸キャップボルト M6×22mm/ペダルカム/ワッシャー/ピロボール/ロックナットの順**

純正チェンジカムとシフタースイッチを繋げているロッドの、チェンジカム側のナット(逆ネジ)のみを緩める。チェンジカムを固定している M6 ボルト(再使用します)を取り外し、純正チェンジカムを取り外す。

下図の様に付属のチェンジカムを取り付ける。



※ 最初の取付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。

純正シフタースイッチに 4.5mm アルミチェンジロッド(黒色)を取り付ける。ネジ山をひと山残した位置でナットを本締め。ステンレスロッド 4.5mm で、アルミチェンジロッドとチェンジペダル側のピロボールを繋げる。

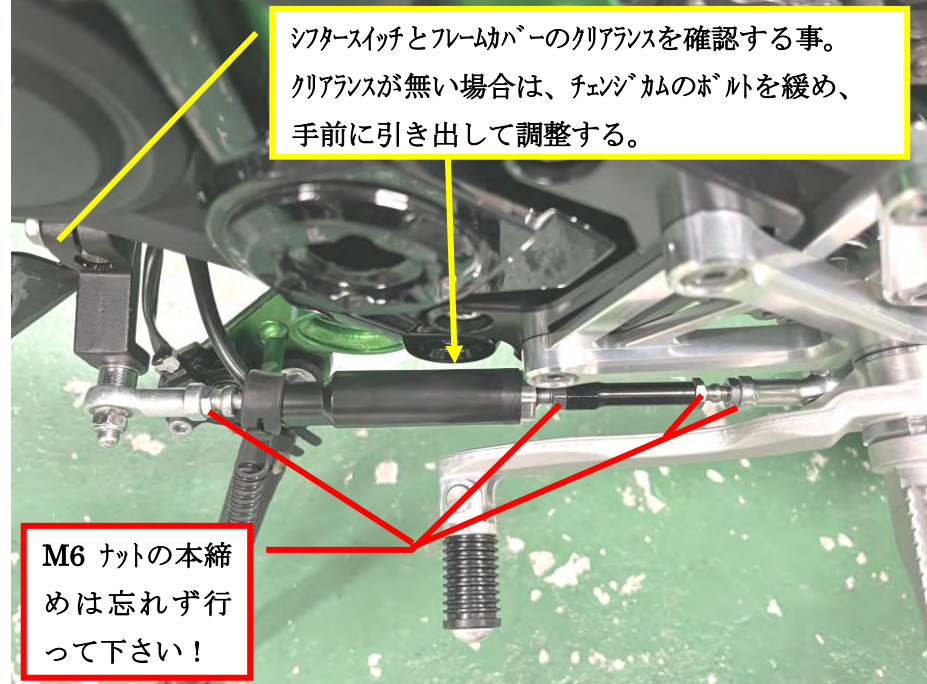
ステンレスロッドを回し、チェンジペダルの高さを調整する。調整後、**M6 ナットを本締め**する。

- ▶ ステンレスロッドの前端 M6 逆ネジ
- ▶ ステンレスロッドの後端 M6 正ネジの

それぞれの部分のネジのかけり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。

6mm 以上確保出来ない場合は、ステンレスロッドを取り外し、シフタースイッチとアルミチェンジロッドの接続部の長さを調整して下さい

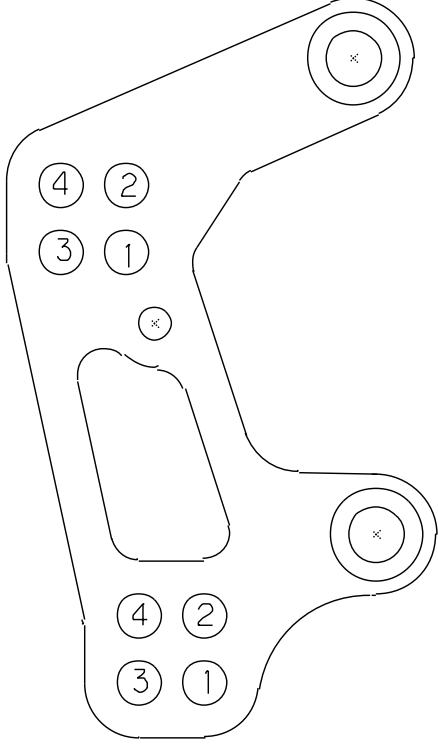


停車状態で、シフトチェンジ操作を 2～3 度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	<i>BACK</i>	<i>UP</i>	
<i>Pos.1</i>	<i>3 5 mm</i>	<i>1 2 mm</i>	
<i>Pos.2</i>	<i>3 5 mm</i>	<i>2 4 mm</i>	
<i>Pos.3</i>	<i>4 7 mm</i>	<i>1 2 mm</i>	
<i>Pos.4</i>	<i>4 7 mm</i>	<i>2 4 mm</i>	

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能です。極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

<p>弊社製品に関するお問い合わせは、</p> <p style="text-align: center;"><b>TEL. 072 (257) 7600</b> <b>FAX. 072 (259) 6600</b></p> <p style="text-align: center;">(株) 日本ビート工業 まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ホームページ URL <a href="http://www.beet.co.jp/">http://www.beet.co.jp/</a></li> <li>➤ 商品関連 e-mail アドレス <a href="mailto:sales@beet.co.jp">sales@beet.co.jp</a></li> <li>➤ 技術関連 e-mail アドレス <a href="mailto:support@beet.co.jp">support@beet.co.jp</a></li> </ul>	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 0;"><i>BEET Website</i></p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 5px 0 0 0;">Web サイトを開設しております。 左記 URL にて ご覧下さい。</p>
--	--	---